株主メモ

決算期	3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、9月30日といたします。
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	3月31日 そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載のホームページアドレス http://www.weds.co.jp
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号　〒105-8574 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所（お問合せ先・郵便物送付先）	東京都杉並区和泉二丁目8番4号　〒168-0063 中央三井信託銀行株式会社　証券代行部 （証券代行事務センター） 電話03（3323）7111（大代表）
同取次所	中央三井信託銀行株式会社　全国各支店 日本証券代行株式会社　本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話　0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）
ホームページアドレス　http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

車と社会の未来を
グローバルに創造する

weds CO.,LTD.
株式会社ウェッズ
〒143-0016
東京都大田区大森北1-6-8　KDX大森ビル6階
TEL 03-5753-8201
URL　http://www.weds.co.jp

PRINTED WITH SOY INK
環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。
R100 古紙配合率100%再生紙

42nd

第42期 報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

weds
株式会社ウェッズ

証券コードNo.7551

ウェッズの永遠のテーマ、
それはCHALLENGEです。
私達は人と車の未来に向けて、
常に新しく価値ある商品を創造し社会に貢献します。

CONTENTS

株主の皆様へ
（第42期の営業概況について）..... 2
決算ハイライト（連結）..... 3
第43期連結業績見通しと
会社の対処すべき課題..... 4
連結財務諸表 5
TOPICS..... 7
NEW PRODUCTS..... 9
会社の概要・株式情報.....10

●株主の皆様へ（第42期の営業概況について）

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて第42期（平成18年4月1日から平成19年３月31日まで）の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の拡大に伴う高水準の設備投資により個人消費や雇用に改善傾向が見られるなど景気回復局面にありますが、緩やかな基調で推移しました。

当社グループと密接な自動車用品業界においては、国内新車販売が前年比約8％減少して軽自動車シフトが顕著となったほか、アフターマーケットでは記録的な暖冬のため廉価アルミホイールなど冬季需要が低調でした。

このような環境において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当連結会計年度は、売上高は23,476百万円（前期比3.8％減）、営業利益は474百万円（前期比32.3％増）、経常利益は515百万円（前期比43.6％増）、当期純利益は312百万円（前期比28.3％増）と減収ながら増益となりました。

なお、今期の１株当り配当は、２年目の福祉事業が軌道に乗ったこと等を考慮して期末配当を７円、年間配当は中間期の５円を含めて12円と２円増配させていただくこととなりました。

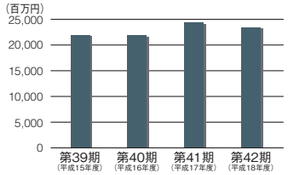
依然として厳しい経営環境が続いていますが、株主の皆様には、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年 6月

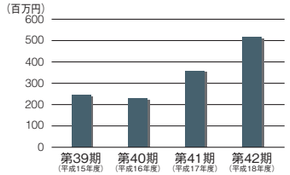
代表取締役社長　**川口　修**

●決算ハイライト（連結）

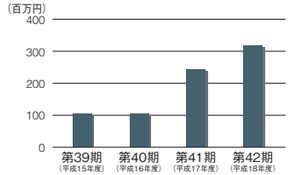
売上高



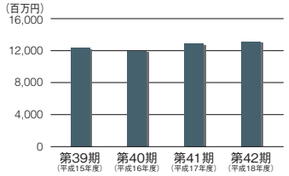
経常利益



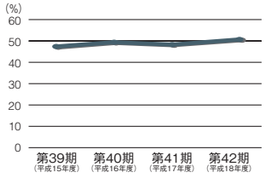
当期純利益



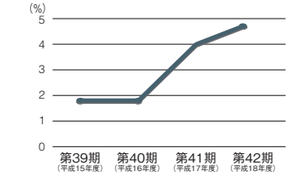
総資産



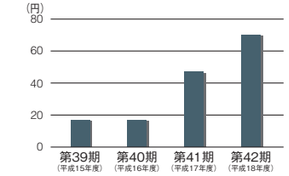
自己資本比率



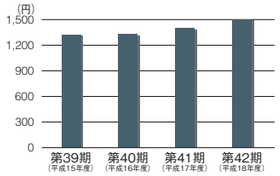
自己資本当期純利益率



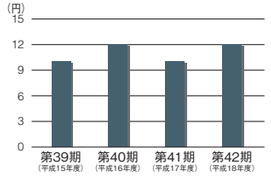
１株当たり当期純利益



１株当たり純資産



１株当たり配当



項　　目		**第39期**（平成15年度）連結	**第40期**（平成16年度）連結	**第41期**（平成17年度）連結	**第42期**（平成18年度）連結
売上高	（百万円）	21,746	21,890	24,398	23,476
営業利益	（百万円）	326	171	358	474
経常利益	（百万円）	244	229	358	515
当期純利益	（百万円）	105	104	243	312
総資産	（百万円）	12,406	11,977	12,874	13,123
純資産	（百万円）	5,877	5,916	6,212	6,655
自己資本比率	（％）	47.4	49.4	48.3	50.7
自己資本当期純利益率	（％）	1.8	1.8	4.0	4.7
１株当たり当期純利益	（円）	17	17	47	70
１株当たり純資産	（円）	1,316	1,325	1,390	1,497
１株当たり配当	（円）	10	12	10	12
配当性向（連結）	（％）	55.8	68.5	20.9	17.1

（注）第40期の１株当たり配当12円には、創立40周年記念配当２円を含んでいます。

●第43期連結業績見通しと会社の対処すべき課題

第43期の連結業績見通し

次期連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績が引き続き拡大して景気は持続的に回復基調を辿ると期待されていますが、米国景気が減速傾向にあり影響が懸念されます。

当社グループを取り巻く環境につきましては、更に厳しくなると見込んでおりますが、自動車関連卸売事業における冬用商品依存度の改善や自動車関連小売事業・福祉事業の強化等に向け営業努力を重ねて参る所存であり、通期の連結業績見通しは、以下の通りです。

売　上　高	24,500百万円（前期比4.4％増）
営 業 利 益	450百万円（前期比5.2％減）
経 常 利 益	470百万円（前期比8.8％減）
当期純利益	270百万円（前期比13.5％減）

※上記の業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づいて当社経営者が判断したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により上記と大きく異なる結果になり得ることをご承知おき下さい。

会社の対処すべき課題

当社グループは、自動車用品アフターマーケットの成熟化や競争激化等に対応すべく、体制強化に取り組んでいますが、当社並びに関係子会社が対処すべき課題は、下記の通りです。

1. 自動車関連卸売事業における高中級アルミホイール商品開発力の強化
2. 自動車関連事業における営業力強化及びシステム構築
3. 自動車関連卸売事業における商品管理の強化
4. 自動車関連卸売事業における高級品３ピース製造販売の拡充
5. 自動車関連小売事業の拡大
6. 福祉事業の拡充

42nd

連結貸借対照表（単位：百万円）

科　目	当期	前期
（資産の部）		
流動資産	**8,185**	**7,846**
現金及び預金	747	1,543
受取手形及び売掛金	3,653	3,519
たな卸資産	2,734	1,823
繰延税金資産	44	129
その他	1,020	855
貸倒引当金	△15	△ 25
固定資産	**4,933**	**5,021**
有形固定資産	**2,967**	**2,842**
建物及び構築物	1,645	1,688
土地	1,099	992
建設仮勘定	60	—
その他	161	161
無形固定資産	**395**	**348**
投資その他の資産	**1,570**	**1,831**
投資有価証券	860	898
繰延税金資産	21	18
その他	721	945
貸倒引当金	△32	△ 32
繰延資産	**4**	**6**
資産合計	**13,123**	**12,874**

（注）単位未満については切り捨てて表示しております。

科　目	当期	前期
（負債の部）		
流動負債	**3,889**	**3,624**
買掛金	1,038	1,503
短期借入金	1,886	1,206
未払法人税等	261	67
繰延税金負債	51	—
賞与引当金	139	119
役員賞与引当金	29	—
その他	482	726
固定負債	**2,578**	**3,038**
社債	700	700
長期借入金	1,350	1,557
繰延税金負債	212	243
退職給付引当金	35	290
役員退職慰労引当金	116	117
その他	163	130
負債合計	**6,468**	**6,662**
（資本の部）		
資本金	—	**852**
資本剰余金	—	**802**
利益剰余金	—	**4,323**
株式等評価差額金	—	**234**
自己株式	—	**△ 0**
資本合計	—	**6,212**
負債・資本合計	—	**12,874**
（純資産の部）		
株主資本	**6,214**	—
資本金	852	—
資本剰余金	802	—
利益剰余金	4,559	—
自己株式	△0	—
評価・換算差額等	**440**	—
その他有価証券評価差額金	179	—
繰延ヘッジ損益	261	—
純資産合計	**6,655**	—
負債・純資産合計	**13,123**	—

連結損益計算書（単位：百万円）

科　目	当期	前期
売上高	23,476	24,398
売上原価	18,874	20,060
売上総利益	**4,602**	**4,337**
販売費及び一般管理費	4,128	3,979
営業利益	**474**	**358**
営業外収益	113	71
営業外費用	73	71
経常利益	**515**	**358**
特別利益	91	81
特別損失	31	12
税金等調整前当期純利益	**575**	**427**
法人税、住民税及び事業税	300	79
法人税等調整額	△ 37	104
当期純利益	**312**	**243**

（注）単位未満については切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

科　目	当期	前期
Ⅰ営業活動によるキャッシュ・フロー	△782	860
Ⅱ投資活動によるキャッシュ・フロー	△441	△ 358
Ⅲ財務活動によるキャッシュ・フロー	428	459
Ⅳ現金及び現金同等物の増減額	△795	961
Ⅴ現金及び現金同等物の期首残高	1,543	581
Ⅵ現金及び現金同等物の期末残高	747	1,543

（注）単位未満については切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書（単位：百万円）

当連結会計年度

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
前期末　残高	852	802	4,323	△ 0	5,977	234	—	234	6,212
連結会計年度中の変動額									
前期末配当			△ 22		△ 22				△ 22
当期中間配当			△ 22		△ 22				△ 22
前期役員賞与			△ 31		△ 31				△ 31
当期純利益			312		312				312
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 55	261	206	206
連結会計年度中の変動額合計			236	△ 0	236	△ 55	261	206	442
当期末　残高	852	802	4,559	△ 0	6,214	179	261	440	6,655

（注）単位未満については切り捨てて表示しております。

“ウェッズスプリングキャンペーン2007”今年も好調！！

毎年２月～５月恒例の販売店及びユーザーを対象に“ウェッズスプリングキャンペーン2007”を展開しており、今年も好調な売れ行きとなっています。

また、今年はウェッズイメージキャラクターに、映画界やトップモデルとして人気のある「森本クリスティーナ」を起用しました。彼女の明るい笑顔が等身大パネルとして店頭やカタログを飾り、ウェッズのイメージＵＰにつながっています。

“Super GT Race” に今年も参戦決定！！

日本や海外の主要サーキットにおいて開催される“Super GT Race”に「WedsSport Racing Team with BANDOH」が今年も参戦します。

ドライバーには、昨年までGT500に参戦していたスタードライバー「飯田章」選手、昨年「フォーミュラトヨタ」及び「フォーミュラチャレンジジャパン」の両シリーズチャンピオンの期待のホープ「関口雄飛」選手を起用して、マシーンは昨年に引き続き「TOYOTA GT CELICA」を使用します。今年こそは、表彰台の独占とシリーズチャンピオンを狙いますが、皆様のご声援を宜しくお願いします。

福祉事業　軌道に

平成17年５月に開業致しました高齢者複合福祉施設「グレイシャスビラ安城」が２年目に入り軌道に乗りました。

有料老人ホームやデイサービス・ショートステイ利用状況等順調に推移しております。

収益力にも目途がつきましたので、戦略的に事業規模拡大を進めていきます。

バーデン　携帯電話販売店４店舗目をオープン

子会社バーデンで行っている事業の一つに、携帯電話販売店の運営がありますが、平成18年10月７日に東北地区３店舗目の「ソフトバンク成沢」（山形市成沢西）がオープンしました。周辺には国立大学や私立高校があり、若年層の来店比率が高いため、店内は清潔感にあふれて、明るい雰囲気が一杯であり、若いお客様で賑わっております。

スーパースター第２工場新設について

子会社スーパースターは生産効率化・生産能力増強にむけて大阪府柏原市に国分工場を新設することになり、本年２月５日に地鎮祭を執り行いました。

同工場は、本年６月に竣工し７月稼動の予定です。

アフターマーケット市場のダントツを目指し、今年も豊富なラインナップをリリース！最高の技術と品質を備えた個性豊かなデザインで時代をリード！

クレンツェ ヴィシュヌ

クレンツェ ラッツィンガー676EVO

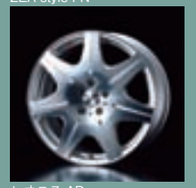
クレンツェ LXZ521EVO 17inch

ヴィレンズ TT7R

ZEA style FN

ZEA style SF

レオニス FX


レオニス AD

WedsSport RE-005NA

McCOYS RT-1

当社はアフターマーケットにおける自動車関連用品の卸売業を営んでおりますが、主軸となるアルミホイールでは華やかな高級品からコストバリューに優れたスノー用ホイールまで幅広く扱っております。昨今の激しい市場競争を勝ち抜くべく、ブランド構築や技術向上、品質保証体制の充実に日々努め、マーケットにより良い商品を提供し続けております。

さて、今年も更なる飛躍に向けて、新しい商品を発表しましたので紹介いたします。当社トップブランドとして好調な販売推移を見せている「クレンツェ」シリーズには「ヴィシュヌ」を発表しました。躍動感のある10本スポークは2つの意匠を重ね合わせたデザイン。カラーラインナップの1つであるSBCポリッシュは業界初の技法で、斬新かつ美麗な装いでデビューしました。また、昨年デビューしたラッツィンガーを2ピースモデル化した商品が「ラッツィンガー・676EVO」です。外周一杯まで広がるスポークでインパクトあるデザインを表現しております。更に、「LXZ・521EVO」は、軽自動車の常識を愕然とさせる17inchの追加設定。輸入車、スポーツカーユーザー層へ向けた高級ブランド「ヴィレンズ」では、「TT7R」を新商品として追加しました。ここ数年、当社は高級品シフト戦略とブランド構築にてこ入れを講じて、今年の新商品で更なる飛躍を目指しております。

中級品ブランドは大口径化が進む市場をターゲットに「ZEA」ブランドを充実すべく、今期は2商品をリリースしました。「FN」「SF」は18inch～20inchの大口径をクロームメッキで華やかに装飾し、クールな独創的デザインで流行の先端を掴む。また、安定した販売数で当社の売上を支えてきた「レオニス」ブランドにも、仕上げや装着性を重視し「FX」「AD」を発表。10年目となるブランドでもあり、デザインへの追求と上級質感のブランディングコンセプトで創出。また、「WedsSport」ブランドの新商品「RE-005NA」は北米輸出モデルを逆輸入し、国内での販売を開始。次世代へ向けた製法であるAMF（Advanced Metal Forming）を採用することで巧みな加工により軽量化を実現。「ウェッズアドベンチャー」ブランドでは、人気のハイエースをターゲットに「マッコイズRT-1」を発表しました。当社は今年もこれら高中級品の充実した商品群で業界ダントツを目指していきます。

●会社の概要・株式情報（平成19年3月31日現在）

会社概要

商　　号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本　　社	東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階
設　　立	昭和40年10月12日
資 本 金	8億5,275万円
従業員数	132名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチールホイールを中心とした自動車部品・用品の販売

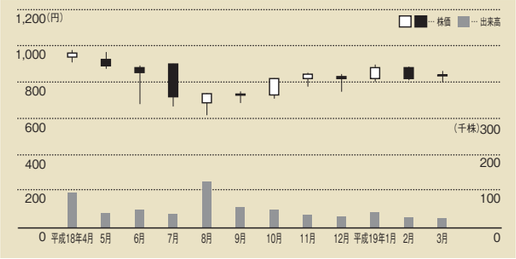
役　員（平成19年6月27日総会後新役員）

取締役社長（代表取締役）	川口　修
常務取締役	谷越時義
常務取締役	山口義弘
取締役	加藤寛夫
取締役	大村正夫
取締役	畑井勇喜雄
取締役	伊澤　秀
常勤監査役	川崎史博
監査役	嶺木邦彦
監査役	小林和夫

※取締役加藤寛夫氏は、会社法第2条第15号に定める資格要件を満たす社外取締役であります。
※監査役嶺木邦彦氏及び小林和夫氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■ 発行可能株式総数 …… 17,780,000株
■ 発行済株式の総数 …… 4,445,000株
■ 単元株式数 …… 100株
■ 株主数 …… 650名
■ 大株主

株主名	当社への出資状況 持株数（株）	出資比率（%）
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
ソシエテ ジェネラル エヌアールエイ エヌオーディティティ	364,000	8.19
石原勝成	242,759	5.46
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	222,000	4.99
碧海信用金庫	130,000	2.92
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
ウェッズ従業員持株会	99,710	2.24
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野肇	59,100	1.33

■株価推移